

# 安全報告書

2012



200系車両

伊賀鉄道株式会社

## 目 次

1. お客様をはじめ地域の皆様へ	1
2. 輸送の安全を確保するための事業の運営の基本的な方針	1
3. 安全目標	2
4. 安全重点施策	2
5. 平成23年度の事故等の発生状況	3
(1) 鉄道運転事故	3
(2) 輸送障害	3
(3) インシデント	3
(4) 行政指導等	3
6. 輸送の安全確保のための取り組み	3
(1) 経営トップによる現業職場巡視	3
(2) 内部監査	3
(3) 係員の教育訓練	3
(4) 緊急時対応訓練	3
(5) ホーム検知装置の設置	4
(6) 設備の管理	4
7. 安全管理体制	5
(1) 安全管理組織	5
(2) 各管理者の役割	5
8. お客様や地域の皆様との連携とお願い	6
(1) こども110番の駅	6
(2) 車内で異常発見時の通報について	6
(3) 踏切道での事故防止についてのごお願い	6
(4) ご乗降時のお願い	7
(5) 自転車の車内持ち込みについて	7
(6) 無料レンタサイクルについて	7
(7) 「お客さまの声」を受けて	7
9. 安全報告書へのご意見に対する連絡先	8

## 1. お客様をはじめ地域の皆様へ

伊賀鉄道をご利用いただき誠にありがとうございます。

平素は、当社の鉄道事業に対してご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、平成19年10月1日に近畿日本鉄道株式会社の伊賀線を継承してから、まもなく5周年を迎えることとなりました。これまでの間、伊賀地方における重要な輸送機関として安全輸送の使命を全うしてこられたのも、ご利用のお客様および地域の皆様のご支援、ご協力を頂いたからこそであり、あらためて深く感謝申し上げます。また、平成21年度から3カ年計画で車両更新を計画し、本年3月に全て200系車両に更新して、保安度ならびに乗り心地の向上を図ることができました。

今後も、安全かつ安心な鉄道輸送を達成するために、当社の会社指針である「安全意識の高揚」を念頭に、安全を最優先に考える企業風土を確固たるものにすべく、更なる努力をしてまいります。

この安全報告書は、鉄道事業法に基づき伊賀鉄道における輸送の安全確保のための取り組みや実態を取りまとめ、皆さまにご理解いただくために公表するものです。今後の安全輸送の維持、さらにはその充実を図るためにも、皆様から素直なご意見・ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

平成24年9月

伊賀鉄道株式会社

代表取締役社長 三輪 隆

## 2. 輸送の安全を確保するための事業の運営の基本的な方針

当社では、お客様や地域の皆様の安全・安心を確保し、信頼される企業として社会の発展に貢献するため、法令を遵守し事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、輸送の安全を確保するための方針や、その他事業活動に関する基本的な方針を次のように定めております。

- (1) 事業活動においては、お客様の安全確保を第一に考えます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともに、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 安全確保のため、日頃から危険要素の排除に努めます。

- (4) 常に安全意識を高く持ち、社会の変化に対応しつつ確固とした体制を目指します。
- (5) 万が一事故・災害が発生した場合は、お客様の救護を最優先に行い、他の機関と連携協力を密にし、被害の拡大防止、適切な情報開示、早期復旧に全力を挙げます。
- (6) 安全に関する教育、訓練、研修等を適時適切に実施いたします。

### 3. 安全目標

経営トップから現場の従業員に至るまで、全員が一丸となった安全管理体制の強化を進めるため、安全最優先の原則と関係法令等の遵守を徹底します。

お客さまの安全を確実なものにするため、

- ・鉄道運転事故、インシデントを発生させない。
- ・当社責任によるお客さまの死傷事故を発生させない。

ことを目標として努力してまいります。

### 4. 安全重点施策

#### (1) 事故の芽情報の分析および対策の実施

軽微なミス、トラブル、ヒヤリ・ハットの事象につきましては、「事故の芽」として提出しやすいよう、より工夫し一層活性化を図ります。また、抽出した「事故の芽」情報は分析や対策を行い、共有することにより事故の発生防止に努めます。

#### (2) 車両点検カードの見直しと効果的な訓練の実施

本年3月に860系車両から200系車両への転用が終了いたしました。200系車両では、幸い大きなトラブルは発生しておりませんが、車両設計が近鉄車両と異なる装置や、東急車両を改造したことで機器配置が大きく異なる車両もあります。そこで、全て200系車両となった本年に車両点検カードの見直しと効果的な訓練を実施し、安全運行に努めます。

#### (3) 異例事態に対応する態勢の維持

東日本大震災をはじめ、台風や大雨による自然災害で甚大な被害が発生し、災害に対する備えが重要視されています。当社においても、事故・災害時に的確に対応できるよう、異例事態を想定した訓練を実施し、態勢の維持に努めます。

## 5. 平成23年度の事故等の発生状況

### (1) 鉄道運転事故

- ・ ありませんでした。

### (2) 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

- ・ 台風12号の影響による運転休止が1件ありました。

### (3) インシデント（鉄道事故等が発生する恐れのある事態）

- ・ ありませんでした。

### (4) 行政指導等

- ・ ありませんでした。

## 6. 輸送の安全確保のための取り組み

### (1) 経営トップによる現業職場巡視

経営の最高責任者である社長および輸送の安全確保に関する業務を統括する安全統括管理者が、定期的に現業職場を巡視して係員との意見交換を通じ、現業と一体となった安全への取り組み状況の確認を行っております。

### (2) 内部監査の実施

「安全管理規程」に基づく安全管理体制の実施状況を確認するため、平成24年2月16日に内部監査を実施いたしました。監査結果については、改善事項はなく適正であることが確認されました。

### (3) 係員の教育訓練

年間指導訓練計画に基づき、知識・技能の維持向上を図るため、乗務員および駅係員を対象に毎月教育訓練を実施しています。運転士については、監督者による添乗指導に努め、事故防止の基本である基本動作の励行と運転技能の向上を図っています。

### (4) 緊急時対応訓練

#### ① 閉そく変更時の運転取扱い対応訓練

平成23年10月15日に、当社と近畿日本鉄道株式会社の運輸部門と合同で、閉そく変更時の運転取扱い対応訓練を丸山駅～伊賀神戸駅間で実施いたしました。



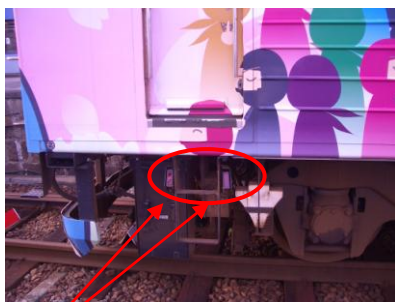
## ② 列車火災発生時の対応訓練

平成24年3月27日（火）に、伊賀市中消防署、伊賀警察署、伊賀市役所のご協力を得て、列車火災発生時の通報連絡、お客さまの避難誘導・救護、消火訓練を上野市車庫で実施し、有事に備えております。



## (5) ホーム検知装置の設置

23年度で200系車両全てに設置完了し、先頭車運転台左右の床下に2個ずつ取り付けたセンサーが、2個ともホームのあることを検知したときのみ運転室にある扉開スイッチのホーム検知表示灯が点灯し、扉開操作が可能とする装置です。



ホームセンサー



ホーム検知表示灯

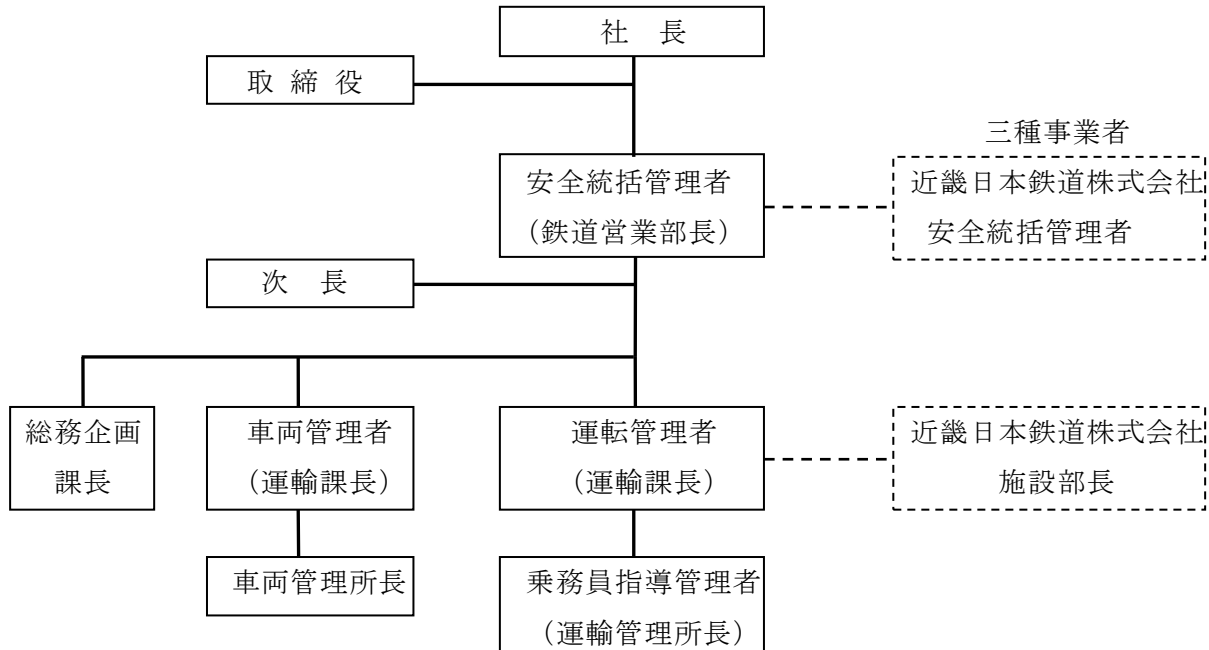
## (6) 設備の管理

設備に関しては、第三種鉄道事業者である近畿日本鉄道株式会社での公表となります。

## 7. 安全管理体制

### (1) 安全管理組織

当社の「安全管理規程」に基づき、社長をトップとする安全管理組織を構築・運用しています。この組織体制の中で、安全統括管理者、運転管理者、その他の管理者等が、それぞれの責務を明確にしたうえ、安全確保のための役割を担っています。



### (2) 各管理者の役割

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者 (鉄道営業部長)	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者 (運輸課長)	安全統括管理者の指揮の下、列車の運行管理、乗務員等の育成及び資質の維持、その他運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者 (運輸管理所長)	運転管理者の指揮の下、乗務員の資質の維持に関する事項を管理する。
車両管理者 (運輸課長)	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
車両管理所長	車両管理者の指揮の下、車両に関する事項を管理する。
投資・要員担当 (総務企画課長)	安全統括管理者の指揮の下、輸送の安全の確保に必要な投資および要員に関する事項を統括する。

## 8. お客様や地域の皆様との連携とお願い

### (1) こども110番の駅

上野市駅では、「こども110番の駅」として地域の子供たちを守るための取り組みを行っております。子供が助けを求めてきたとき、社員が保護し警察に通報するなどの対応をします。



### (2) 車内で異常発見時の通報について

車内で異常を発見したとき、各車両に設置されている車内通報ボタンを押していただくと、乗務員に異常を知らせます。



### (3) 踏切道での事故防止についてのお願い

踏切道内で自動車がエンスト、落輪等で脱出できないときは、踏切道に設置されている「非常ボタン」(一部の踏切道を除く)を強く押してください。異常を列車に知らせるシステムになっております。





(4) ご乗降時のお願い

当社では、駅員のいない駅での扉の取り扱いを、混雑した列車を除き先頭車の前扉に限定しております。ご乗車の際整理券をお取りいただき、運賃、乗車券はお降りの際先頭車の運賃箱にお入れ願います。定期券をお持ちのお客様は運転士にお示し願います。

(5) 自転車の車内持ち込みについて

当社では、持ち込み料無料で車内に自転車をお持ち込みいただける「サイクルトレイン」を実施しています。対象となる列車や注意事項等の詳しい情報は当社ホームページをご覧ください。



(6) 無料レンタサイクルについて

当社では、茅町駅においてビジネス・観光・お買い物等に便利な交通手段として「無料レンタサイクル」を実施しています。



(7) 「お客さまの声」を受けて

当社では、上野市駅にご意見箱を設けてお客様から承るほか、沿線自治体等からのご意見やご要望を受け改善に努めております。また、災害や事故等により列車運行に多大な影響が生じる場合は、当社ホームページでご案内いたします。今後も、お客さまのご意見・ご要望等を経営に反映させ、安全の確保に努めてまいります。

9. 安全報告書へのご意見に対する連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せください。

【連絡先】 伊賀鉄道株式会社 鉄道営業部 総務企画課  
〒518-0873 三重県伊賀市上野丸之内6-1番地の2  
TEL 0595 (21) 0863 FAX 0595 (21) 1070  
月～金（祝日を除く） 9:00 ～ 18:00

※ 伊賀鉄道の時刻、運賃、運行状況、イベント等の情報はホームページをご覧ください。

伊賀鉄道ホームページ <http://www.igatetsu.co.jp>